

中高年・団塊世代...へ戻る

脳卒中障害者...へ戻る

「たじみ市民SNS」への参加

「NPO ITまちづくりプロジェクト」への参加

「たじみ福祉SNS」の開設へ：  
上記プロジェクトの中で開設予定

社会貢献への道	
1	NPO法人の目指すものと設立
2	<b>地域活動への参加</b> かがやき世代の会・多治見 日本一きれいなまちづくり
3	<b>ウェブの世界へ(ウェブ2.0革命)</b> 「たじみ市民SNS」への参加 「NPO ITまちづくりプロジェクト」への参加 「たじみ福祉SNS」の開設へ
4	「片マヒ自立研究会」
5	各種「ボランティア」への参加
6	心理カウンセラーへの道
7	生涯学習の推進
8	趣味的・リタイアメントコミュニティ活動

### 3. ウェブの世界へ(ウェブ2.0革命) ; IT技術で社会貢献

#### (2) 「NPO ITまちづくりプロジェクト」への参加を促された考え方

(私自身が、「たじみ市民SNS」と「たじみ福祉SNS」開設を決意させられた考え方を

「NPO ITまちづくりプロジェクト」の「代表 前川征一氏の論文」から抜粋紹介します。)

#### 1) なぜ、地域SNSか？(1)

現在、岐阜県多治見市で、「NPO まちづくり IT プロジェクト」の事業として地域 SNS「たじみシニア SNS」・「たじみ市民 SNS」の運営を始めています

「なぜ？なんのために？地域 SNS を始めたのか？」に一言で答えれば

「地域コミュニティを作るため、地域コミュニティを活性化するため、地域活性化のため」

「地域コミュニティが消えつつあるから」ということになります。

しかし、その話をする前に、「**地域コミュニティとは何か**」「**地域 SNS とは何か**」について、大まかなイメージを共有する必要があります。  
皆さんの問題意識と照らし合わせながら読んでみて下さい。

「**地域コミュニティ**」( Wikipedia から引用します。)

「**地域コミュニティ**」( ちいきこみゆにてい )とは、**地域住民が生活している場所**。

- ・すなわち消費、生産, 労働、教育、衛生・医療、遊び、スポーツ、芸能、祭りに関わり合いながら、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団を指す。
- ・コミュニティという総称には、市町村などの地方自治体、地域を越えて連携した非営利組織などの集団、インターネット上で連絡を取り合う集団なども含まれる。
- ・日本にあっては、「少子高齢化に伴う子育て支援」、「老人の介護」、「障害者の自立支援」など社会保障の問題, あるいは企業の社会的責任を巡って、「地域社会と企業の共生」の問題として、地域コミュニティの形成とその重要性が議論されている。

地域コミュニティは、人間性を回復して、自律型の地域社会をつくる基盤であり、人々のニーズを地域情報化することで、参加型の持続可能な開発につながるともされる。

「**SNS**」( 再び、Wikipedia から SNS について引用します。)

- ・**SNS「ソーシャル・ネットワーキング・サービス**( 英語: Social Network Service, )」とは、社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスの事である。
- ・日本では mixi が有名で紹介制を取っていることから、「**SNS は紹介制**」と誤解を受けるが、「社会的ネットワークをインターネット上で構築する」ものが SNS であって、その構築のためには「**紹介制だけでなく希望者の登録制など**」幾つかの仕組みがあり、そのサービス内容によりモデル分類される。
- ・広義的には、社会的ネットワークの構築の出来るサービスや Web サイトであれば、ソーシャル・ネットワーキング・サービスまたはソーシャル・ネットワーキング・サイトと定義される。この為、コメントやトラックバックなどのコミュニケーション機能を有しているブログも広義的には SNS に含まれる。
- ・狭義的には、ソーシャル・ネットワーキング・サービスとは人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のサービスと定義される。  
あるいはそういったサービスを提供する Web サイトも含まれる。

- ・ソーシャル・ネットワーキング・サービスの主目的は、人と人とのコミュニケーションにある。友人・知人間のコミュニケーションを促進する手段や場、あるいは趣味や嗜好、居住地域、出身校、「友人の友人」といった自身と直接関係のない他人との繋がりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供している。
- ・代表的なソーシャル・ネットワーキング・サービスとして日本最大の会員数を持つ mixi、世界最大の会員数を持つ MySpace がある。
- ・熊本県八代市が運営する「ごろっとやっちょろ」を皮切りに自治体や非営利団体・企業等が運営する「地域 SNS」も各地で立ち上がっている。 以上で引用終了

「**地域 SNS**」とは、「地域限定の SNS」、「地域の人と人をつなぐインターネットコミュニティ」です。

「NPO まちづくり IT プロジェクト」は、「**地域 SNS**」として、個人情報ではなく、「**地域情報に重点を置いた情報発信・交流・共有**」を目的とする「**地域 SNS**」を作り、地域コミュニティづくり、地域活性化につなげたいと考えています。

もちろん、個人情報と地域情報ははっきり、分けられるものではありませんが、個人情報主体の地域 SNS は、漠然とした地域イメージを形成する働きはあるかも知れませんが、住民を社会的な活動に結びつけるような「**地域プラットフォーム**」の役割は難しいと思っています。

私の考えている「**地域 SNS**」とは地縁的なコミュニティではなく、むしろテーマコミュニティであると考えています。

地域のテーマごとの SNS があって良いと考えていますが、情報の交流、共有のためには、あまり細分化することは好ましくないと思います。

現在、スタートしているのは、次の三つです。

「**たじみシニア SNS**」主として、シニア IT 講習受講者のフォローとシニアコミュニティを作るためと考えています。

しかし、アクティブなシニアは一般市民の中に入って行けばよいと思います。

- ・「**たじみ市民 SNS**」：**市民活動グループや地域情報発信一般市民用。**
- ・「**たじみ福祉 SNS**」：**障がい者同志やボランティアとの交流用。準備中。**
- ・「**地区 SNS**」：**校区や公民館中心の SNS を考えています。**

これらの地域 SNS の機能として、次の三つを考えています。

1. **地域イメージの形成**； **自慢できる、愛着を感じるまちのイメージづくり。**
2. **地域プラットフォーム**； **地域活動、協働の舞台づくり。**
3. **地域アーカイブス** ； **地域情報、財産の記録、発信、保存。**

また、「地域 SNS」単独ではなく、「地域サロン」、「地域スクール」の三位一体活動として実施すべきであると考えています。

多治見市のスローガン「ひとが元気！まちが元気！」を市民として具体化する活動として「たじみ元気コミュニティ」を推進したいと考えていますが、次の三つの三位一体コミュニティ活動として実施します。

1. **元気 SNS** ; **インターネットコミュニティ**
2. **元気サロン** ; **リアル(実際の)コミュニティ**
3. **元気スクール** ; **ラーニング(地域学習)コミュニティ、元気 IT 講習**

「たじみ元気コミュニティ」活動は IT の活用による地域活性化を目指します。  
以上。

詳しい情報は次の各項目を[クリック](#)ご参照ください。

全体計画 [たじみ元気コミュニティ推進計画](#)

市民 SNS [たじみシニア SNS](#)

Picasaウェブアルバム [市民 SNS たじみ百景](#)

地区 SNS [わきのしま元気コミュニティ](#)

運営者 [NPO まちづくり IT プロジェクト](#)

[中高年・団塊世代...へ戻る](#)

[脳卒中障害者...へ戻る](#)